

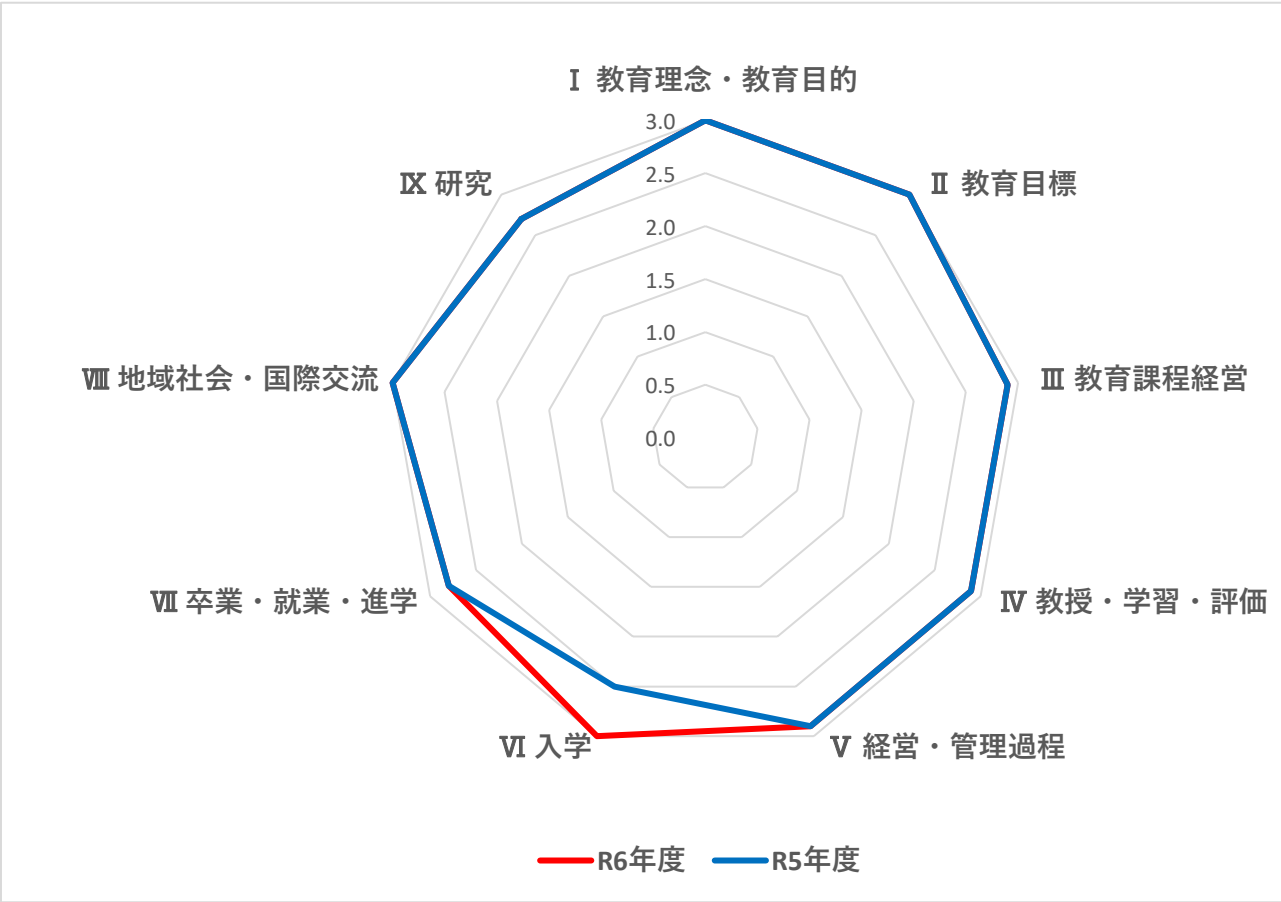
令和6年度 自己点検・自己評価結果

奈良市立看護専門学校

評価項目	評価の視点	R6年度	R5年度
I 教育理念・教育目的	学校の教育理念・教育目標は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時に期待される学生像に反映されているか	3.0	3.0
II 教育目標	教育理念・目的・目標の一貫性および卒後教育との継続性を考えた目標設定であり、教職員および学生に浸透しているか	3.0	3.0
III 教育課程経営	教育課程の編成については、独自性・整合性・ニーズへの対応などを考えているか。教職員全体で、教育課程と授業実践、教育評価の関連性を理解した上で一貫した活動を行っているか	2.9	2.9
IV 教授・学習・評価	教育内容の妥当性、授業内容に応じた授業形態の選択、評価計画、学習支援体制など教育の質向上のために計画的に進められているか	2.9	2.9
V 経営・管理過程	設立の意図を職員が理解し、教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているか	2.9	2.9
VI 入学	教育理念に基づいた入学選抜の適正な運用と実施状況の分析、対策がされているか	3.0	2.5
VII 卒業・就業・進学	卒業生の進路・国家試験合格状況の分析、対策がされているか	2.8	2.8
VIII 地域社会・国際交流	地域のニーズに応じた講座・ボランティア活動等、交流や社会貢献活動を行っているか。また国際的観点を含めた教育活動を行っているか。	3.0	3.0
IX 研究	教員の研究実績および研究活動の支援体制が整っているか	2.7	2.7

学校関係者評価委員会 令和7年3月27日開催

委員
奈良市医師会長
奈良県看護協会 会長
飛鳥地区自治連合会 会長
市立奈良病院 事務部長
市立奈良病院 事務次長



学校自己評価について

前年度の評価をもとに改善に取り組み、令和6度の自己点検・自己評価を実施した。今年度、特に取り組んだ内容と課題は以下である。

【 成 果 】

- 入学生確保対策は、入試日程・オープンキャンパスの早期化、ホームページ・パンフレットのリニューアル、SNS強化、奈良市の広報活用、高校訪問範囲の拡大等により、オープンキャンパス参加者数・入試応募数増となった。
また令和7年4月1日より教育訓練給付制度の講座指定を認可された。
- 看護実践力の育成に対し、実習ではルーブリック評価により、公正な評価ができ、学生自身も到達度を認識でき学習の改善に活かすことが期待できる。また各学年の年度末にOCSEを行い、思考・技術の到達度を確認できた。
- 国家試験対策は、学年ごとに年間計画に沿って行った。模試・補講開始時期の早期化、ICTツールを活用し、すき間時間の活用や実習と関連させながら行い、1月の目標は達成でき、既卒も含め国家試験に全員合格した。

【 課 題 】

- 学生確保については、継続した課題である。入試の開催時期や内容を検討し応募者を増やす。
- シラバスの見直しと授業研究を継続し、よりよい授業に向け改善する。実習ルーブリック評価は、ブラッシュアップする。
- 基礎的学習習慣の獲得、教員と学生、学生同士の相互に学びを促す環境を整える。
- 教員が主体的に研究活動が行えるように支援する。